防音・騒音対策なら静科にご相談を！

株式会社 静科

会社概要資料

企業理念

静さを科学する力で”世の為人の為”に尽くす

企業人である前に、良き社会人として、”世の為人の為” に尽くすという信念の元、騒音に悩む方々の解決策に挑み、今まで培ってきた部材制作の技術を活かしつつ、多くの時間と人々のご協力を得て、全く新しい高機能防音・吸音材の開発に成功し現在に至ります。

騒音環境・被害に悩む多くの方々に、より快適な環境で過ごしていただくために、弊社製品の拡販に努めると共に、様々な環境に適応する製品開発に日々邁進して参ります。

行動指針

1. お客様第一
2. 品質の高度化
3. 対応のスピード優先
4. 企画・創造力で前進

企業戦略

法人・個人問わず、お客様への騒音対策を通して、快適な環境づくりのお手伝いをいたします。また、弊社の薄型軽量の製品性能を生かして、企業様の製品の静音化を進める事で、付加価値・競争力のある製品作りをサポートいたします。

また、弊社の騒音対策・製品作りサポートは、国内向けのサービスにとどまらず、中国、韓国、アメリカ、ＥＵ諸国（アメリカ・中国・韓国にて特許取得済み）など、少数精悦ながら諸外国にも展開しております。今後も防音・音響対策の中心的存在となるグローバルカンパニーを目指し、幅広く事業を展開していく所存です。

代表挨拶

世の為人の為に役立つ技術を守るために、静科は変わり続けます。

代表取締役　高橋俊二

～高機能防音・吸音材「一人静」シリーズ誕生秘話～

弊社は初めから防音・吸音材のメーカーではありませんでした。弊社の主力製品である「一人静」シリーズの開発以前は、新幹線やヘリコプターの部材を製作していました。部材制作でも事業は成り立っていましたが、ふと当時の開発者は考えました。

「何か人のためにできないか」と。

様々悩んだ末、工場の周りでは飛行機の離着陸音に悩んでいる人が多いと気づき、さらには、従来製品ではなかなかその問題を解決できていないことも知りました。

「厚くて重く、なかなか工場や機械に使えない、自宅で気軽に使えない」

そんな問題に挑み、全く新しい次世代防音・吸音材「一人静」シリーズの開発に成功。現在は、防音・吸音材の製造・販売・施工に一本化し、防音対策の提案・サポートを日々行っています。

～人に優しい製品を作りたい～

「隣の部屋の子供の声が気になる」
「子供をのびのび育てたいけど、ご近所の声が気になる」
「大がかりな工事をしないと騒音・防音対策が出来ない」

私たちは多くの方々に課題を与えて頂きました。薄くて軽く、そして安全・手軽に設置できる防音・吸音効果のある製品を作るために、日夜研究・開発を重ね、防音材に使用する素材は、　触れるとチクチクするようなグラスウールなどの素材は使用せず、断熱効果、ホルムアルデヒド無害化機能、自然調湿機能のある素材を採用し、安心してご家庭でも使用できる製品を世に送り出すことができました。化石エネルギーを消費せず、永続的に効果のある人に優しい製品・・それが「一人静シリーズ」です。

～快適な環境作りを目指して～

工場などで騒音の大きい場所などで働く方は難聴になりやすく、日々の騒音が従業員の方々の日常生活に大きな影響を及ぼしていますが、防音・騒音対策を導入できない現状があります。

「高い導入費用」
「目に見えない事への認識不足」
「日常での騒音への慣れや通常業務・作業への阻害」

静科では「製品を製造・販売する」こと以外に、防音対策コストを下げるために、様々な取り組みを行っています。

・防音対策に対する認識不足を改善のため、お客様側で簡単に組み立てられるようにキット化した製品を提供。

・営業・広報活動において、WEB サイトや Facebook などの SNS を活用、手軽に導入できる騒音・防音対策に関する知識・情報を日々配信。

・お客様の負担・作業への阻害を無くすため、日々の作業・状況等を細かくヒアリングし、従業員の皆さまの作業の負担にならない設置方法をご提案。

騒音を改善し、皆様の生活を快適にする・・それが静科の目的です。そして、**世の為人の為に役立つ技術を守るために、静科は変わり続けます。**

製品紹介・サービス

暮らしを変える、音から変える～「一人静」シリーズ

弊社の主力製品である、「一人静シリーズ」は、 吸音と遮音を組み合わせた特許構造・複合体により、低周波から高周波まで対応した、幅広い防音効果と多機能性を実現。従来のグラスウールやウレタンを使用した製品を凌駕する性能を持つ、次世代の防音・吸音材です。その製品性能が認められ、2007 年には、「かながわスタンダード認定 」、2011 年には、土木学会「環境賞」受賞 、2015 年には、発明大賞本章を受賞しております。また、優れた吸音・遮音性能だけでなく、調湿性、断熱性、不燃性、熱安定性、強度、放熱性、耐候性、耐水性、ホルムアルデヒド無害化、電磁波シールド特性などにおいても優れていることが、測定結果により実証されています。

工場・機械騒音対策用「タイプ A」、熱伝導性の良い素材を用いて放熱性を高めた「タイプ D」、大型機械・低周波対策用 「タイプ L」、耐水性を高め、発塵を抑えたクリーンルーム対応「タイプ Z 」、住宅内設置用「Grand、Esprit/Esprit Life、Grace」、医療機関用（試作中）など、様々な環境や用途に応じた製品ご用意しております。

オーダー・OEM 製品開発

お客様のご要望に合わせ、ボックス加工や特殊加工など小規模のものから、防音室や防音壁など大型のものまで、お客様の課題対策向けの製品開発や、新商品開発・試作品制作のご依頼をお受けしています。

音響測定

騒音の発生原因を探り、防音対策の制度を高め、効率よく快適環境を得るために、経験豊富な国家資格者（振動・騒音測量士）による音響測定・騒音調査を行っております。

音を楽しめるパートナー～SHIZUKA Stillness Panel

騒音対策用の「一人静」シリーズの吸音と遮音性能に注目し、音響用パネルとして改良した製品です。高い吸音性能が反響音を軽減し、 音楽制作環境、レコーディングスタジオ、ライブステージ、オーディオルーム、ホームシアターなどにおいて、理想的な音響空間を可能にします。音響環境にこだわりを持つ、国内外の著名ミュージシャンやレコーディングエンジニア、オーディオファンにご愛用いただいております。

環境・社会貢献

1.騒音低減

航空機・鉄道・工場機器・風力発電・ヒートポンプなどの、機器設備等から出る低周波音を含む騒音や、一般道路の交通騒音・　高速道路の突発音など、弊社製品「一人静」　による防音対策によって、騒音被害改善に貢献しています。

2.CO2 低減

弊社製品「一人静」 の優れた断熱機能は、CO2 削減材としても有効であり、その省エネ効果は、国交省第998 号告示値以上の効果があります。また、石油製品の使用比率については、市販の断熱パネル材が30%以上に対し、弊社製品は 10%以下と、資源削減にも寄与します。

3.不燃・ガス有害性対策

「一人静」シリーズ（タイプＡ・Ｄ・Ｌ・Ｚ）材は建築基準法第 2 条九号の不燃材に合格した安心・安全材であり、本パネルの発生ガス濃度は市販合板の 1 /10（CO2＝1.37％、CO＝0.04％）、O2 濃度は18.9%と、人間が生存出来る安全範囲値を得ています。

4.調湿機能

「一人静」は調湿（呼吸作用）　機能があり、材料の長期安定性作用や、カビ・結露防止、漏電・腐食防止などの、居住性向上作用があり、　安心・安全にも結びつきます。

5.ホルムアルデヒドガス無害化

フェノールフォーム構造体（特開 2009-19487）の技術は、空気中に充満するガスを吸収無害化する分解機能を持ち、居住空間をクリーンに保ちます。

6.リサイクル対策

「一人静」 シリーズ（タイプＡ・Ｄ・Ｌ・Ｚ）は、アルミ材がパネル全重量の 90%以上の構成であり、パネル廃棄時の資源回収率の高い製品です。ハニカム構造内にフォーム材を内蔵させる技術により、低密度のフォーム材の使用を可能とし、フォーム（石油製品）の使用を従来の 30％以下に削減し、表面材に接着する接着剤（石油製品）使用量の少ない省資源生産技術（当社特許）を開発しました。

7.省エネ・地域影響対策

常温下（20±５℃）で生産でき、パネル生産装置は、電動プレス、切断機のみで、装置の作動時間が短く、自動化を必要としない高能率生産を実現した、省エネ生産技術を確立しています。さらには、騒音・臭気・埃で地域影響の問題のない生産技術となっています。

企業情報

1.会社名	株式会社　静科
2.設立	平成 16 年　1 月 23 日
3.代表者	代表取締役　　高橋　俊二
4.所在地	本社工場　243-0807　神奈川県厚木市金田 492-1 電話番号　046-224-7200 FAX 番号　046-224-7210 WEB サイト:　http://www.hitori-shizuka.jp/
5.資本金	1430 万円
6.　従業員数	7 人
7.年間売上	10,000 万円
8.事業内容	吸遮音材製造販売 パネル材、キット化材製造販売 簡易無響試験室製造販売 道路ジョイント騒音対策材製造販売 低周波音対策材製造販売 調湿系断熱吸遮音パネル材製造販売 防音工事、鉄骨を用いた防音架台の製作 音響測定
9.主要お取引先様	厚木看護専門学校 株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング 株式会社リコー 川崎重工業株式会社 関西学院大学 キャノンプレシジョン株式会社 住友ゴム工業株式会社 住友スリーエム株式会社 ＪＦＥエンジニアリング株式会社 東京都現代美術館 トヨタ自動車株式会社 パナソニック株式会社 東日本高速道路株式会社（NEXCO 東日本） 日野自動車 本田技研工業株式会社 防衛省

	ヤマハ株式会社 ヤマハ発電機株式会社 LIXIL 前橋製作所株式会社 株式会社デンソー 株式会社 IHI 東日本旅客鉄道株式会社（JR 東日本） その他年約 150 社様程度納品その他年約 150 社様程度納品

沿革

2006年	1月	資本金1000万円で設立
	11月	（財）発明振興協会から発明研究奨励金交付：対象特許3806744号
	12月	SBIR(中小企業技術革新制度)採択 交付機関：（独）中小企業基盤整備機構（経済産業省）
2007年	2月	（独）中小企業基盤整備機構から事業化支援補助金の交付 課題：「新素材を用いた除振防音室の事業化（キット製品開発）」 かながわスタンダード認定「新素材吸音パネル」
	3月	東日本高速道路（株）「Ti ネットワーク」制度に応募、「一人静」吸遮音材をプレゼンし採択。共同研究の開始。
	4月	資本金1430万円に増資
2009年	10月	「21年度ものづくり中小企業製品開発等支援補助金」交付 課題：「無機材とポリマー材の複合化による低周波騒音対策製品開発」 開発製品：　60Hz 以上にタイプ A・D（低周波音・不燃機能アップ） 80Hz以下にタイプL（新製品：特許出願）
2010年	3月	建築基準法第2条第九号に係る不燃材基準に合格。 製品タイプA・D・L
2011年	5月	東日本高速道路（株）との共同開発製品「突発音吸収装置」にて平成22年度土木学会「環境賞」受賞
	11月	機械学会関東支部神奈川ブロックにて「技術賞」受賞
2012年	3月	TBS系列「夢の扉＋」に薄型軽量吸音パネルとして取り上げられる
	6月	測定事業開始（残響時間測定、遮音測定、低周波音測定、床衝撃音測定）
2013年	10月	アメリカ・ニューヨークにて開催の「AES」展に出展
2014年	6月	本社工場　及び　事務所を大和市から厚木市に移転
	8月	かながわ産業NAVI大賞　環境部門　優秀賞　受賞
2015年	3月	（公）日本発明振興協会、日刊工業新聞社主催　「発明大賞」本賞受賞
2016年	1月	神奈川県　より神奈川県優良小規模企業者表彰を受賞